



製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (原子吸光用) イットリウム標準液 1000mg/L
Yttrium, standard solution, 1000mg/L

整理番号 15421

作成日 2000年11月27日

改訂日 2012年12月12日

会社名 純正化学株式会社

本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16

連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)

担当部門 営業本部 学術担当

担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1 - 6

電話番号 048-988-3621 FAX 番号 048-988-6689

E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp

http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE GHS 混合物分類ガイダンス (ver.2) (純正化学分類)

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

自己発熱性化学品 : 区分外

水反応性可燃性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 吸入(粉塵/ミスト) : 区分 3

皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分 1A

眼に対する重篤な損傷性
/ 刺激性 : 区分 1

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露) : 区分 2 (呼吸器系)

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露) : 区分 2 (呼吸器系、歯)

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器(呼吸器系)の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復暴露により臓器(呼吸器系、歯)の損傷のおそれ

【注意書】

【安全対策】

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・ばく露したとき、または気分が悪い時、医師に連絡すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分1

化学名:硝酸イットリウム

化学式: $Y(NO_3)_3$

CAS No: 10361-93-0

EINECS No: 233-802-6

含有量: 約 0.274 % (2.77g /L)

化審法: 1-789

安衛法: 公表

成分2

化学名: 硝酸

化学式: HNO_3

CAS No: 7697-37-2

EINECS No: 231-714-2

含有量: 約 6.3 %
化審法: 1-394
安衛法: 公表

成分 3

化学名: 水
化学式: H₂O
CAS No: 7732-18-5
EINECS No: 231-791-2
含有量: 成分 1,2 の残量
化審法: 局方
安衛法: 公表

4, 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
眼に入った場合: 先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
飲み込んだ場合: 意識あるなら、口をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師に連絡。

5, 火災時の措置

本品不燃物

消火剤

周辺火災の場合は、火災に応じて適切な消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性: データなし

特有の消火方法: データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具: 防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物を砂または不活性吸収剤に吸収させてふた付きの容器に集めて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ミストが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。金属と接触して水素を発生する可能性があるので火気厳禁。

保管

- 密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
-

8, 暴露防止及び保護措置

通気: 換気装置を用いて、ミスト濃度を低く保つ。

暴露限界(硝酸として):

日本産業衛生学会(2011年度): 2ppm

ACGIH(2010年): 2ppm (TLV- TWA)

設備対策

局所排気装置、洗眼器、安全シャワー

保護具

- 酸性ガス用マスク。空気呼吸器等。
 - 不浸透性保護手袋。
 - 安全ゴーグル、保護面。
 - 不浸透性保護衣。
-

9, 物理的及び化学的性質

外観: 無色透明液体

臭い: なし

pH: 強酸性

融点: データなし

沸点: データなし

引火点: 不燃物

爆発範囲の上限・下限: 不燃物

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重(相対密度): データなし

溶解度: 水に溶ける

n-オクタノール/水分配係数: データなし

自然発火温度: データなし

分解温度: データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 常温常圧で安定

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など): 光、熱、金属及び強アルカリとの接触

混触不可物質: 水反応可燃性物質

危険な分解生成物: 窒素酸化物

危険な重合反応: しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

データなし

急性毒性 経皮

データなし

急性毒性 吸入:ガス

GHS定義による液体

急性毒性 吸入:蒸気

データなし

急性毒性 吸入:粉塵ミスト

成分2のGHS分類結果に加算式を適用して本製品を区分3とした。

成分2のGHS分類結果:硝酸は蒸気、ガスとしては存在せず、LC50のデータは全てミストとみなして、5件あるデータは全て0.05 - 0.5mg/Lの範囲内にあるため区分2とした。

皮膚腐食性/刺激性

成分2のGHS分類結果に加成性を適用して本製品を区分1とした。

成分2のGHS分類結果:ヒトに対し腐食性(ICSC(1994))、(HSDB(2005))の記載があり、国連分類クラス8Iであることより区分1Aとした。

眼に対する重篤な損傷性/刺激性

成分2のGHS分類結果に加成性を適用して本製品を区分1とした。

成分2のGHS分類結果:ヒトの目に暴露すると激しい熱傷が起こり、角膜の混濁、視力障害から失明に至る(ACGIH(2001))の記載があり、皮膚腐食性/刺激性が区分1Aに分類されていることより区分1とした。

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

成分2のGHS分類結果にカットオフ値を適用して本製品を区分2(呼吸器系)とした。

成分2のGHS分類結果:ヒトが硝酸から発生した蒸気を吸入して上気道の刺激、咳、呼吸困難、胸の痛み、暴露濃度、暴露時間によっては肺水腫を起こす(ACGIH(2001))、(DFGOTvol.3(1991))、(ICSC(J)(1994))、(HSDB(2005))の記載により区分1(呼吸器系)に分類した。

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

成分2のGHS分類結果にカットオフ値を適用して本製品を区分2(呼吸器系、歯)とした。

成分2のGHS分類結果:ミスト、又は硝酸から発生した蒸気の職業暴露で慢性気管支炎に(ACGIH(2001))、歯の侵食(ACGIH(2001))、(DFGOTvol.3(1994))の記載より区分1(歯、呼吸器系)に分類した。

吸引性呼吸器有害性

データなし

12, 環境影響情報

- 生態毒性
 - 水性環境急性有害性
データなし
 - 水性環境慢性有害性
データなし

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

- 国連番号: 2031
- 品名: 硝酸
- 国連分類: 8 (腐食性物質)
- 容器等級:
- 海洋汚染物質: 非該当

緊急時応急措置指針番号: 157

15, 適用法令

- 消防法: 非該当
- 毒劇法: 非該当
- P R T R法: 非該当
- 労働安全衛生法: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 307(硝酸)
- 船舶安全法: 危規則第2条危険物 等級8 腐食性物質
- 航空法: 施行規則第194条危険物 腐食性物質
- 海洋汚染防止法: 施行令別表第1有害液体物質(Y類)

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス 14 版 6577 (Nitric acid)
- STNインターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
- RTECS No.: QU5775000 (Nitric acid)
- RTECS No.: ZG3750000 (Yttrium (III) nitrate hexahydrate (1:3:6))
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)
- 改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- NITE GHS 分類データ (ID=597(硝酸))
- NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)
- 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
- 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
- International Chemical Safety Cards (ICSC) No. 0183(硝酸)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。